
病態栄養学

望月 龍馬 病態栄養治療部 栄養士長*

田中 明紀子 病態栄養治療部 主 査*

2 年次後期・選択

1 単位・15 時間

【概要・目的】

臨床栄養学の概念、栄養管理を必要とする各疾患における食事療法の基準と実際について理解する。

生活習慣病や高齢者に代表される疾患の予防についても学ぶ。

【到達目標】

- 1) 一般栄養学、エネルギー制限食、他の治療食の必要性について理解する
 - 2) 各種病態や疾患の治療法と栄養療法を統合的に整理できる
-

【内容・スケジュール】

- 1) 病態栄養学の概念 食事療法と看護
 - 2) 消化器疾患の食事療法
 - 3) 代謝性疾患の食事療法
 - 4) 呼吸・循環器疾患の食事療法
 - 5) 腎疾患の食事療法
 - 6) 感染症、免疫疾患の食事療法
 - 7) アレルギー疾患の食事療法
 - 8) 高齢者における栄養管理
-

【評価】

筆記試験（80%）、出席状況および参加態度など（20%）

【教科書】

講義プリント

【推薦参考図書】

系統看護学講座 別巻「栄養食事療法」医学書院

武田英二著 「臨床病態栄養学」 文光堂

本田佳子編 新臨床栄養学「栄養ケアマネジメント」 第4版 医歯薬出版

日本栄養士会監修 疾患・病態別臨床栄養学 第5版 第一出版

【その他】 各疾患における学会作成のガイドライン